

千葉市議会議員

たばた直子

議会報告
レポート
VOL.40



一般質問で経済分野の女性の活躍について、取り上げました。

- 千葉市的人口は、今年をピークに減少局面に向かう。生産年齢人口(18歳~65歳)は...

10年後には約3万人(うち女性約1万1千人)

20年後には約11万人(うち女性約5万人)減少する

- 女性の都市志向が高まっており、東京都への流出超過傾向。

- 女性の転出超過数は男性の3倍
- 千葉市は、女性の正規職員・従業員の比率が41.8%
- 育児をしている未就労の女性21300人のうち、就労を希望する女性は14500人(平成29年就業構造調査)

田畠の意見

- 女性の流出を防ぎ、定住人口を増やす対策が必要！
- 育児等により離職した女性の再就職を支援するなど、女性の労働力を活かすことが重要！
- 女性の居住地に近接した企業への就労促進や、生活者としての視点や地域の資源を活かす起業支援の充実が必要である！



たばた直子の意見要望

- 厚労省の子育てサポート企業認定制度「くるみん」
女性活躍推進企業認定制度「えるぼし」や
千葉市認定制度の登録企業数の増加のため
労働局や経済農政局との連携による周知が必要！



- 市認定制度登録企業に育児休業取得の助成金、育休代替え要員の雇用助成金、男性の育児休業取得助成金の交付、推進アドバイザー派遣物品等の契約及び工事契約上の優遇制度を設け、インセンティブを！

- 中小企業にも浸透するよう、市長による経済界への働きかけを強化！

- 託児付き再就職セミナー、受講しやすいオンラインや各区での開催等女性のニーズを捉えた講座を開催し、経済農政局との連携強化を！

- 全市的に意識の醸成を進めていくためには、男女共同参画課のみならず、全庁で取り組む必要がある！



- 政策を統括する総合政策局で地方創生計画において女性活躍推進を経済分野でさらに反映を！

- 府内横断的な連絡・推進体制の構築を！

- 地域女性活躍推進交付金事業の積極的な活用を！

先進的な取り組み事例

- SNSやポータルサイトでの情報の発信
- 再就職支援企業の情報提供
- 女性等に対象を絞ったジョブステーションの設置
- ママインターナーシップ制度、女性の就労支援カウンセラー配置
- 雇用促進のための職場環境整備支援の補助金制度
- 女性の創業継続支援制度
- 金融機関や創業支援機関が連携したフォローアップ体制
- 女性を対象にした創業研修
- 起業の連続講座
- 総合相談窓口の設置
- 起業後のフォローアップ体制
- 女性起業家のネットワーク構築



新型コロナワクチン接種の緊急要望書を神谷市長に提出しました!!

私が責任者として作成した新型コロナワクチン接種の緊急要望書を神谷市長に提出しました。市民の皆様からお寄せ頂きましたご意見やご指摘頂いた点を反映させました。引き続き、現役世代や学齢期のお子さんなどの接種が始まることから、円滑な接種体制を求めて参ります。



新型コロナワクチン接種に関する緊急要望書

- 接種に関する相談・予約体制の強化を図ること。
- かかりつけ患者以外も接種できる医療機関(個別接種会場)を増やすこと。
- 集団接種会場の接種日を増やすことや、新たに利便性の高い集団接種会場の増設を図る等により、大幅な接種回数の増加を図ること。
- ワクチン接種を担う医療人材(看護師、歯科医師等)の積極的な確保と活用を進めること。
- ワクチン接種体制の強化を図るため、産業医の派遣や集団接種会場の外部委託などの検討・実施すること。
- 教職員をはじめとした学校関係者、保育士・幼稚園教諭など児童・生徒に関わる職務者の他、消防局職員、エッセンシャルワーカーへの優先接種を実施すること。
- 各接種会場において予約キャンセルが発生した場合の余剰ワクチンを、緊急性の高い職務従事者に連絡し、接種するなど、破棄せずにする方策を統一的に図ること。
- 65歳以下の一般市民の接種体制においては、ネットでの予約など、予約しやすい方法を拡充する他、土日・夜間の開設など、受けやすい体制整備を検討・実施すること。
- 重度心身障がいの方や、在宅医療を利用している方々に対し、訪問接種の体制整備を図ること。
- 視覚・聴覚障がい、言語障がい、精神障がい等がある市民への情報の周知の工夫と接種しやすい会場環境の整備をすること。
- 副反応の状況等、厚生労働省から通知された必要な情報については、迅速に市民へ提供すること。
- 今後、児童・生徒等15歳以下への接種も検討されているため、学校での接種体制など円滑な接種方法について関係部局と協議すること。

プロフィール PROFILE

● 1976年生まれ 45歳 真砂在住

● 0歳時に稻毛海岸三丁目団地に転入。稻毛幼稚園出身、小学校3年生まで千葉市で過ごす。

● 父の仕事の関係で名古屋・東京へ。

● 1994年 都立竹早高等学校 卒業

● 1996年 東京女子大学文理学部 中退

● 結婚・出産を経て、再び千葉市へ。

● 子育てをしながら、財団法人等で非常勤職員として勤務。

● 学校PTA活動やボランティア活動を通じて

● 子育ての課題、地域連携の重要性を感じる。

● 公募で民主党市議会議員候補となり2011年に初当選。

● 立憲民主党青年局 政策調査部 部長

● 全国若手市議会議員の会 組織拡大部 会長

● 超党派女性地方議員ネットワーク WOMAN SHIFT 運営部

●ひとり親家庭支援のための地方議員ネットワーク 代表発起人



新型コロナ関連情報

59歳以下の方は、8月2日(月曜日)から予約を受け付けます。

■千葉市のワクチン接種
に関する情報



■厚生労働省
ワクチン接種ナビ



■個別接種が受けられる
医療機関



■集団接種会場
予約サイト



《接種後の副反応など体調で気になることは...》

★千葉県新型コロナワクチン副反応等専門相談窓口

◎電話：03-6412-9326

★厚生労働省新型コロナワクチンコールセンター

◎電話：0120-761-770



千葉市コロナワクチン接種センター

0120-57-8970

受付時間 8時30分～18時00分 ※ 土日・祝日を含む（年末年始は除く）

●耳や言葉が不自由な方は、メールやFAXでお問い合わせを。

◎メール：cv-call@city.chiba.lg.jp

◎FAX：043-245-5128



海浜幕張地域の方からご要望が
ある客引き行為等について、防止
条例制定に向けて、前進しました。

海浜幕張では、所謂、客引き行為が見られ、駅を利用する方々から、苦情を頂いていました。千葉市は禁止区域の指定、違反行為の位置づけ、違反者への勧告等、罰則を規定した条例制定に向け、パブリックコメントを実施しました。



地元の協議会と協力した取り組みを実施できるよう調整中です。この条例に関する議案は9月の議会に上程される予定で、議決後施行される流れです。(令和4年4月1日に禁止、罰則等の既定の施行)引き続き、通勤されている方々からのご意見を踏まえ、効果のある運用になるよう努めて参ります。



海浜幕張駅前の様子



八街市の通学路交通事故を受け
市内の通学路について、関係所管
から状況を調査するとともに、神谷市長
へ要望書を提出しました。

八街市で起きた痛ましい交通事故を踏まえ、市内の通学路に関する交通安全対策のほか、通学路の民地における危険なブロック塀の改善状況、保育所のお散歩ルートにおける交通安全対策の対応状況を調査しました。本市では、年度毎に関係所管合同で30校の点検をする安全プログラムの実施や通学路のカラー化計画を進めています。しかしながら、毎年、改善要望は学校からあがることから、緊急性を勘案し、迅速に対応する必要があります。また県警との連携も欠かせません。先月には、緊急整備要望の追加受付を実施しました。

美浜区は比較的車道と歩道が分離されていますが、交通量の多い道路も多く、統廃合により通学路の距離が長くなった地域もあることから、地域の皆さんのご意見をできるだけはやく反映できるよう引き続き取り組んで参ります。



児童が犠牲になった県内交通死亡事故を受け 通学路等の交通安全対策を求める緊急要望書

1. 今回の事故を受けて改めて、小・中・高・特別支援学校・保育園・認定こども園などの通学路や周辺道路について点検を行うとともに学校・PTA等を通じて、実態を確認し、可能な限り、歩道の確保・カラー舗装化・「ゾーン30」の導入推進・交通安全施設の設置など、改善と予算拡充に努めること。
2. 児童・生徒の登下校時の見守り活動（セーフティーウォッチ活動など）の強化・支援を図ること。
3. 飲酒運転や悪質運転を根絶するために県警による取り締まり強化を求める。
4. 児童・生徒に対し、様々な機会を捉えて、交通安全教育・啓発活動を行うこと。
5. 町内自治会や地域団体からの安全対策要望に、可能な限り、迅速に対応すること。



交通安全対策の
対応状況の調査
を実施



発行：たばた直子事務所

住所：〒261-0011 千葉市美浜区真砂3-4-4 2F

千葉海浜交通 稲毛海岸駅発～稲毛駅行きバス 真砂第三公団バス停前

TEL：043-216-3861 FAX：043-216-3891

メールアドレス：info@tabatanaoko.com

ホームページ：http://tabatanaoko.com